



燃費に自信があるキャタピラーだからできる 燃費保証キャンペーン

対象機種ご購入後、1年間の燃料消費量をモニターし、
あらかじめ定められた基準を超えて燃料が消費された場合、超過燃料相当額をお客様に償還します。
※詳細は、販売店より交付する所定の登録用紙、確認書、規約等に記載の条件によります。

○キャンペーン期間

2017年4月 — 2017年12月末日

【対象機種】

油圧ショベル: 330F, 336F, 336F XE
ホイールローダ: 950M Z, 962M Z, 966M, 972M, 980M
期間中に上記のオフロード法2014年基準適合機種を新車で
購入したお客様全員が対象となります。

【参加方法】

下記Webサイトから無料お見積りをお申し込みいただくか、お近くの販売店へお問い合わせください。
<http://kenkipro.com/news/2017/04/61.html>
○キャンペーンの参加には、対象機種ご購入後60日以内のご登録が必要です。
○所定の登録用紙に記入いただくことで、キャンペーンの参加が完了となります。



キャンペーンの詳細は
こちらから→

BUILT FOR IT.

キャタピラー http://www.cat.com/ja_JP/

CATくらぶ編集室 〒158-8530 東京都世田谷区用賀4-10-1
TEL. 03-5717-1284

CATくらぶメールアドレス cat-club-japan@cat.com

CAT, CATERPILLAR, BUILT FOR IT 及びそれらのロゴ、"Caterpillar Yellow", "Power Edge" trade dressはCaterpillar Inc. の登録商標です。
REGA及びFIGAはキャタピラー・ジャパン合同会社の登録商標です。

9100C0-97(0817)



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用し、水なし印刷を採用しています。
用紙には適切に管理された森林で生産された木材を原料に含むFSC® 認証用紙を使用しています。



CAT[®] くらぶ[®]

2017
NO.
97



●お客様の現場から

**宮崎県の基盤づくりを
30年にわたって支えた**

Catダンプトラック

「建設機械の点検・整備 / 現場の安全」のTOPに戻る



「粘り強い仕事で お客様の 信頼に応える」

「自宅の近所にキャタピラーの支店があったので
Catの建設機械には親しみと憧れを感じていました」
と子供の日の思い出を語る吉廣朋範は
宮崎県のお客様を担当するフィールドメカニック。
自動車整備の専門学校を卒業後、入社以来20年以上にわたって
誠実な仕事を通して、信頼をコツコツと積み上げてきました。
最近始めたウォーキングで1日の疲れをリセットして
毎日お客様からのSOSにお応えしています。

BUILT FOR IT.™



キャタピラー九州 宮崎支店
日向延岡営業所

吉廣 朋範
Tomonori Yoshihiro

自転車に乗り始めてから乗り物や機械に触れる楽しさを知り、その後はバイク、専門学校時代は自動車、そして今は建設機械と、対象がどんどん大きくなりました。キャタピラーの支店が自宅の近所にあったこともあって、Catのブルドーザや油圧ショベルは子供の頃から身近な存在でしたが、まさか大人になって毎日そうした機械たちの面倒を見ることになるとは思っていませんでした。

1996年に入社してからフィールドメカニック一筋、もう20年以上キャリアを重ねていますが、まだまだ勉強の毎日です。例えば「油圧が上がらない」というトラブルが発生した場合も、その症状に至るには幾通りもの原因や筋道が考えられます。しかし少し慣れてくるとつい症状と原因の因果関係を決め付けてしまい、正しい判断と処置が遅れてしまうことも少なくありません。自分もメカニックになって5年目ぐらいのときにそうした失敗を経験し、悔しい思いをしました。

スキルアップへの近道は経験を積むことですが、その経験が視野を狭めてしまうこともあります。トラブルと向き合うときには、過信せず、さまざまな原因を想定する視野を持つように心掛けています。そして、知らないことは仲間に聞いて、少しでも多くの知識をインプットするようにしています。

自分の強みは、小学生の頃から少林寺拳法で養ってきた「根気強さ」。難しいトラブルシューティングも原因を突き詰め、「これなら大丈夫!」と納得できるまで粘り強く対応します。夜遅くまで掛かってしまうこともありますが、お客様は一刻も早く仕事を再開したいとお考えのはずです。途中で手を止めて「また明日来ます」と帰るわけにはいきません。地道な仕事の積み重ねが、「吉廣くんに頼めば安心だ」という自分の信頼になり、キャタピラーへの信頼へつながっていくのだと思います。世界ナンバー1メーカーの一員として、これからもお客様への責任を果たしていけるように努力していきます。

CAT 2017 NO.97 くらぶ CONTENTS

QUALITY

BUILT FOR IT.

吉廣 朋範

「粘り強い仕事で
お客様の信頼に応える」

P2

USER

お客様の現場から

宮崎県の基盤づくりを
30年にわたって支えた
Catダンプトラック

P4

SUPPORT

スタートしよう! i-Construction ⑤

VisionLink® Unified Suite

P8

see more プロサバ

油圧ショベルの日常点検
～基本から始めよう!～

P10

CAT経営塾

忘れていませんか?

「経営力向上計画」の認定申請

P12

持ってますか?この資格

P13

安全への視角

P14

INFORMATION

TOPICS

P15

●「CATくらぶ」の記事がWebでご覧になれます

「see moreプロサバ」「安全への視角」最新月号分の記事をキャタピラー・ジャパンサイト「建設機械の点検・整備/現場の安全」コーナーに掲載しています。
「お気に入り」「ブックマーク」にぜひ登録ください。

http://www.cat.com/ja_JP.html



お客様の現場から

矢野産業株式会社

宮崎県内最大手の碎石事業者である矢野産業様は、「建設用骨材を通じて地域社会に奉仕する」を社として地産地消に取り組み、地域に根差した企業活動を展開してきました。2012年に創業50周年を迎え、一昨年には本社新社屋も完成。「地域と社員に愛される100年企業」を目指し、次の50年へと歩みを進めています。

PROFILE



代表取締役社長
矢野 俊也 様

矢野産業株式会社

代 表 者：代表取締役社長 矢野 俊也

本社所在地：宮崎県東諸県郡国富町大字木脇3952-3

設 立：1962年

従 業 員 数：170名(グループ会社含む)

事 業 内 容：道路用碎石、コンクリート用碎石、砕砂、割り石、捨石、道床バラスト、砂利・砂およびその他の石材の生産・販売

URL： <http://yanosangyou.co.jp/>



地元宮崎と社員への思いを語られる
矢野俊也社長



本社に隣接して設置された
メガソーラー（発電容量：
1,124kW）
南国宮崎の陽射しを生かし、
エネルギーも地産地消してい
ます
（左）管理棟「晴耕堂」



本社敷地に永久展示されたCat 773B
地元の子供たちも見学に訪れます

骨材の安定供給を通して 宮崎の発展を支え続ける

宮崎駅から大淀川沿いを遡るように車を走らせること約30分。矢野産業様の本社は、雄大な緑に囲まれた国富町木脇の高台にありました。災害時にも事業継続性を確保し、復旧作業を素早くサポートできるよう、2年前にこの地に新築された社屋の正面には、約30年(稼働時間:2万7,000時間)にわたって矢野産業様の事業を支え続けたCat® 773Bダンプトラックがきれいに再塗装され、来客を出迎えるように永久展示されています。

「機械も会社の一員、社員と同じです。現役時代にしっかり働いてくれた機械は、感謝の気持ちを込めて引退後も大切にしたい」

そう語るのは4代目の経営者として会社を引き継がれている矢野俊也様。もともとは祖父・久義様(初代社長)が戦後まもなく建設会社「OK土建」を起こして事業をスタートしましたが、高度経済成長期を迎え、本庄川(大淀川の支流)流域の綾町に工場を構え、川砂利や陸砂利の採取業へと舵を切りました。その後、需要増加に対応して骨

材を大量かつ安定的に供給するため、宮崎県で碎石業者登録第1号の認可を取得し、時代の流れに先手を打って山からの原石採掘を開始しました。

「碎石工場づくりはゼロからスタートでした。山探しから始めて、近隣の住民の方々の理解を得ながら、敷地周辺の道路を舗装するなど環境を一つひとつ整えていきました」

こうして1974年に完成した日向碎石工場は、建設ラッシュの追い風も受けて飛躍への大きな原動力となりました。続く79年には第2の生産基地、田野碎石工場を開設。県が主導する地産地消運動の先頭に立ち、地元の良質な骨材供給を通じて、宮崎自動車道、東九州自動車道などの主要幹線をはじめ、宮崎ブーゲンビリア空港、宮崎港、海岸・河岸工事、学園都市、各種ダム、シーガイアなどのビッグプロジェクトを半世紀以上にわたって支え続けてきました。

バブル崩壊後の長期不況の折にも、雇用・安全・品質を最優先する地に足の着いた経営を貫き、現在は運輸や資源再生、建設業などのグループ会社を傘下に擁する県内最大手の碎石事業者として揺るぎない基盤を築いています。

機械に長く働いてもらう秘訣は、 日頃から丁寧に使ってあげること

矢野産業様の県北の生産基地・日向碎石工場は、本社から東九州自動車道を1時間ほど北上した日向市に位置しています。ベンチカット工法によって階段状に採掘された広大な現場では、950Kホイールローダや336D、320D油圧ショベルなどのCat製品がそれぞれの持ち場でキビキビと働いていました。

950Kは出荷ヤードへ次々とやってくるダンプトラックにナマコン用製品の積込作業を行っていました。キャブのドアには白抜き文字で「私を大切に使用してください。」と書かれており、その車両は過酷な碎石現場で何年も稼働しているとは思えないほど手入れが行き届いています。

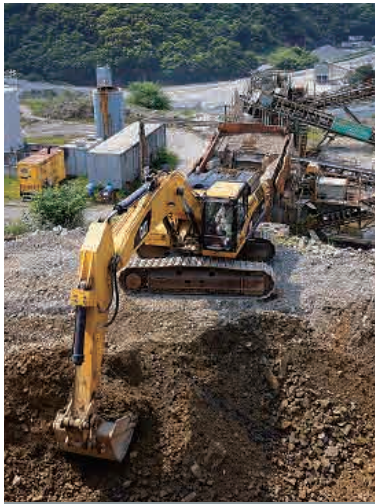
「機械に長く働いてもらうためには、日頃から丁寧に扱ってあげることが大事です。始業時にはボルト1本の緩みも見逃さないようにしっかりと点検を行い、大切に乗り、不具合を感じた場合にはすぐにCatのメカニックに連絡を取って診断してもらうようにしています」

そう教えてくださったのは下山克洋工場長。



(上)ダンプトラックへの積込作業に活躍する950K
(右)県北における骨材供給基地、日向碎石工場(可採岩石量4,500万t)





土砂をクラッシャーに投入する
336D (碎石仕様車)



矢野産業様では車両の維持管理を徹底するため、1台ごとに詳細な点検リストを作り、月に1度は日向と田野でクロスチェックも実施しているそうです。

「点検時に気になった箇所は写真付きLINEを送って整備のアドバイスをもらったり、Catのメカさんとは頻りに連絡を取り合っています。こちらからお願いしなくとも週に1度は機械の様子を見に立ち寄ってくれるので、サポートについては申し分ありません」

採掘係の係長として現場で稼働する機械に目を配られている吉永聖作様からも大変うれしいコメントをいただきました。また、これまで各社のホイールローダを乗り継がれ、現在は950Kに乗務されているオペレータの松岡正一様も「作業性はCatが一番!」と太鼓判を押してくださいました。「毎日8時間、何十台ものダンプトラックに積み込みを行っています、パワーに余裕があってエンジン音も静かなので気持ちよく作業できます。視界が広がって安全確認も容易ですし、このクラスでは小回り性もずば抜けていると思います。950Kに乗り換えてから運転疲労も少なくなりました」

“地域と社員に愛される100年企業”を目指して

2012年に創業50周年を迎えた矢野産業様は、新たな50年への指針として“地域と社員に愛される100年企業”というスローガンを掲げています。

「企業の原点は人です。かつて3Kと呼ばれて人材が定着しなかった苦い経験を糧にして、老若男女が能力を分かち合いながら、伸び伸びと働ける職場を目指しています」

矢野社長の言葉通りに、本社には19歳から70歳を超えるベテラン社員までが勤務しています。明るく広々としたオフィスは、社員同士が自由に交流できるようフリーアドレス制を導入。「女性が快適に働ける会社は、みんなが働きやすい会社」というお考えのもと、管理や事務系の部門には女性を積極的に採用しています。また、「社員が元気に働き続けるためには家族の理解や協力も欠かせない」とおっしゃる社長は、会社見学会や社員の成人式に両親を招待して理解を得るように努めています。

「お父さん、お母さんはどこに勤めているの?と

お子さんに聞かれたときに、胸を張って答えてもらえる会社でありたいですね。そして、大人になったら自分も働きたいと思われるような会社になりたい。すでに親子で働いている社員も20組ほどいますが、10年後には親子3代で勤めているというような人たちがたくさん出てくればいいなと思います」

さらに矢野産業様は、地域社会との交流や貢献活動にも積極的に取り組み、日向、田野の両工場ではゴルフ大会やお祭りなどのイベントを年に5～6回開催。本社の敷地内には地元住民の方々に“ふれあい憩いの場”として活用してもらうための公園も造成しています。

また、東日本大震災や熊本地震の際には、重機部隊とトラック部隊を動員して復旧や物資の輸送をお手伝い。万一南海トラフ地震などが起きた場合には、本社を支援活動の拠点や緊急物資の保管場所として役立ててもらうための準備を進めているそうです。

地域の活性化を支え、いざというときには住民を守る“黒子”として貢献していきたい。そんな矢野産業様の取り組みを私たちキャタピラーもパートナーとして応援していきます。



(左より) 下山克洋工場長、吉永聖作係長、
キャタピラー九州 宮崎支店 日向延岡営業所 田中所長



選別作業をパワフルにこなす320D



(上) 宮崎労働基準局長より「快適職場認定証」を取得している本社オフィスでは、フリーアドレス制も導入しています
(左) オフィス最年長の大西克彦様と最年少の椎原菜々子様

New machine Pickup!

高品質・高効率を実現する
磨き抜かれた作業性能。

Cat® 950M Z ホイールローダ

運転質量	18,211kg
バケット容量	2.5-9.2m³
エンジン定格出力	171kW



オフロード法2014年
基準適合



国土交通省指定
低騒音型建設機械

正確な施工を保証する 先進のCatコネクトテクノロジー

Cat Production Measurement (CPMオプション)の最新テクノロジーにより、リアルタイムに積込量の把握が可能。Product Link™やオンラインVisionLink®ソフトウェアを通して生産管理をモニタしながらオペレーションを最適化していくので、勤に頼らない正確な作業を行うことができ、より高品質・高効率な生産を実現します。



Cat PAYLOAD Technology

最新のオペレータ環境が 優れた作業効率をアシスト

全周にわたって視界を確保し、広々とした作業空間の新型キャブ。空調の自動制御や騒音レベルの低減など、オペレータの快適さにこだわっています。定評のあるステアリングホイールを標準装備し、疲労低減にも効果的なE-Hジョイスティックステアリングをオプションでご用意。優れた操作性で、無駄のない効率的な作業に貢献します。



積み込みに最適な「Zバーリンケージ」と パフォーマンスシリーズバケット

製品積み込みやマス切り作業など、トラック積み込み用途に最適な「Zバーリンケージ」を採用。つねに高い視認性を確保しながら効率的な作業を行うことができます。従来モデルより好評の「パフォーマンスシリーズバケット」が持つ優れた積み込み性能と荷の保持性と合わせて、高効率な作業を実現します。



スタートしよう! i-Construction ⑤

VisionLink® Unified Suite



クラウドを介して、現場で稼働する建機や機材のさまざまなデータを把握し、機械管理、生産管理、安全管理の「見える化」を実現する VisionLinkがこのたびバージョンアップ！ さらに見やすく、一段と便利に。進化を遂げたモニタリング機能でお客様のビジネスをサクセスへ導きます。

お客様の現場管理を革新する キャタピラーのVisionLinkが ユーザーフレンドリーにバージョンアップ

施工現場とオフィスをクラウドで結ぶことで、現場で稼働する建機や機材のリアルタイムな遠隔管理を実現。機械の稼働状況や運転情報だけでなく、生産性・安全性の面でも行き届いたマネジメントを可能にするVisionLink。

これまででもご好評をいただいている高度で多彩なモニタ

リング機能や現場改善の効果はそのままに、新たなメリットと利便性をプラスしたアプリケーションが登場します。見やすさ、使いやすさに、よりいっそう磨きをかけてパワーアップ。一歩進んだ「現場の見える化」を実現します。



4つのアプリケーションで、 さらに高度な「現場の見える化」を実現



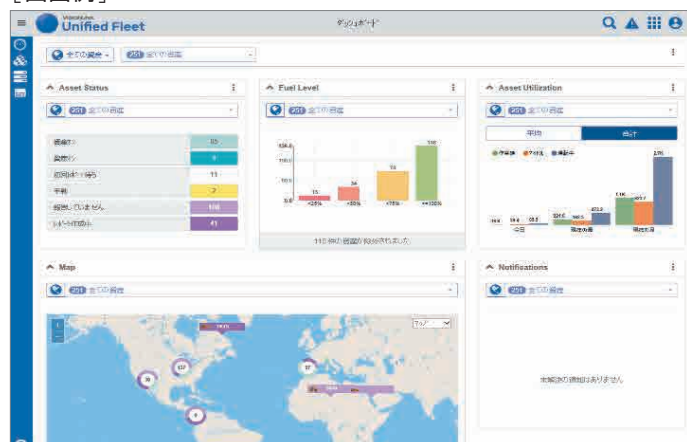
「現場の見える化」

- 機械管理**
車両の稼働状況や運転情報などを把握
- 生産管理**
車両の作業量や出来高などを把握
- 安全管理**
危険につながる可能性がある行為を把握

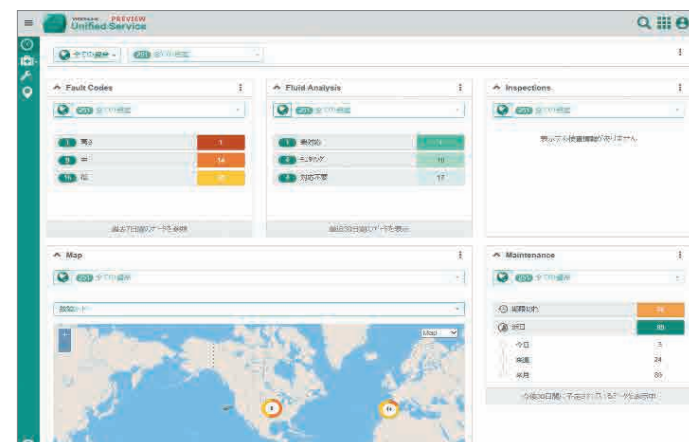
VisionLink Unified Suite

複数のアプリケーションを同時に表示可能、
現場の状況を多角的に把握しやすくなり、総合的に高度な
モニタリングを実現します。

〔画面例〕



Unified Fleet画面



Unified Service画面

VISIONLINK Unified Fleet

Unified Fleetは、オーナーやオペレータだけでなく、機械管理部門のスタッフまでオープンに活用できるように開発されたアプリケーション。運転状況ページにアクセスすると、保有資産(建機や機材)の稼働状況をグラフやマップで表示。それぞれのサービスメータ、場所、アイドリング時間、稼働時間、燃費などを把握でき、資産管理の強化に役立ちます。

VISIONLINK Unified Productivity

生産性に関するさまざまな情報を集約するアプリケーション。ペイロードやロード&サイクルのモニタリング(オプション)などを1つのアプリケーションに統合し、積載量や回数をチェックできるなど、生産管理が容易に行えます。



VISIONLINK Unified Service

メンテナンスを重視されるお客様に有用なアプリケーション。保有資産の故障コードをはじめ、S・O・Sサービス(オイル分析)の検査結果や定期点検の時期、過去のメンテナンス履歴などを容易に確認でき、適切なメンテナンスの実施をサポートします。

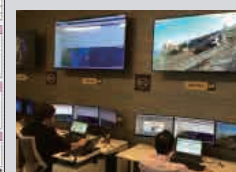
VISIONLINK Administrator

Unified Suiteの各アプリケーションで表示させるグループを設定できる機能を備えています。資産の登録・設定、ユーザー管理をはじめ、ジオフェンス、レポート、通知、グループ、現場などの管理が行えます。



共通化された画面&機能性で、 モバイル端末でも管理が容易に！

オフィスのパソコンはもちろん、モバイル通信を利用してスマートフォンやタブレットからもVisionLinkアプリへ自在にアクセス。共通化されたカラフルなグラフィックで見やすく、どんな種類のデバイスを使用しても機能はほとんど変わりません。現場や外出先でも最新の情報を入手することが可能になります。



キャタピラーでは、機械のライフサイクルを通じて、お客様に最小のコストで最大の収益を得ていただくために、VisionLinkをはじめ、S・O・Sサービス、納入以降の修理履歴など、あらゆる機械情報をデータベース化し、総合的な分析のもと、適切な修理・メンテナンスのアドバイスやソリューションをご提案しています。現場のさらなる効率アップやコスト低減を図るために、この機会にぜひ、VisionLink Unified Suiteの活用をご検討ください。

●今回ご紹介したVisionLink Unified Suiteの詳細については、担当セールスマンまたは最寄りの販売店にお問い合わせください。



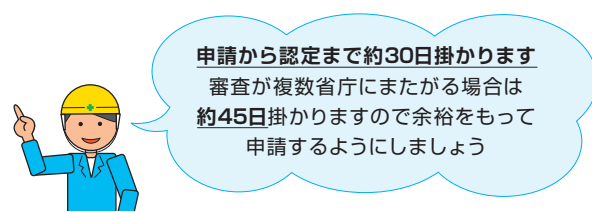
忘れていませんか？ 「経営力向上計画」の認定申請

前号でご紹介した通り、中小企業の“稼ぐ力”を後押しするために「中小企業経営強化税制」が施行され、税制優遇を受ける条件として「経営力向上計画」の申請と認定が必要になりました。そこで今回は、手続きの方法や申請書に記載すべき内容などについてご説明していきます。



1 「経営力向上計画」とは？

「経営力向上計画」とは、人材育成、コスト管理といったマネジメントの強化や設備投資などにより、自社の生産性を向上させるための計画です。平成28年度末までの「中小企業投資促進税制(上乗せ措置)」では、工業会の証明書を提出することで手続きが可能でしたが、「中小企業経営強化税制」では、生産性向上への実施内容などを記載した「経営力向上計画」の申請書を提出し、認定を受けた事業者のみが税制優遇を受けることができます。

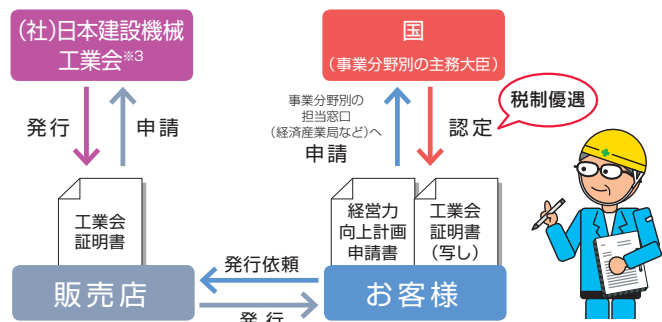


2 「経営力向上計画」の申請手続き

「経営力向上計画」は、お客様が国に申請します。申請時にはお客様が設備の購入段階で策定した「経営力向上計画」の申請書(原本と写し)^{※1}と「工業会証明書^{※2}」(写し)が必要になります。

「経営力向上計画」の申請書は、規定の申請書様式に必要事項(8参照)を記載します。「工業会証明書」は販売店にて(社)日本建設機械工業会^{※3}に発行申請し、お客様へお届けします。

- ※1 申請書の様式や申請方法は、設備の納入日によって異なるため、注意が必要です。
 ※2 「工業会証明書」の発行申請は、発注前・後、納車後のいずれでも可能です。証明書が発行できない機械は対象外となります。
 ※3 設備の用途または細目によっては違う工業会への申請の可能性があります。



3 「経営力向上計画」の作成ポイント

「経営力向上計画」の申請書には、自社の概要、現状認識、経営力向上の目標および経営の向上の程度を示す指標、経営力向上の内容などを記載します。ここでは、特に申請のポイントとなる2点をピックアップしてご紹介します。

POINT-1

経営力向上の目標および経営力向上による経営の向上の程度を示す指標

指標の種類を「労働生産性・基本」「労働生産性・推奨」「労働生産性・簡易」のいずれかより選び、実施期間(3年、4年、5年)に応じた伸び率(3年:1%以上、4年:1.5%以上、5年:2%以上)を記載します。

POINT-2

経営力向上の内容

「建設業分野に係る経営力向上に関する指針」の「第3 経営力向上に関する事項」をもとに、該当する箇所と経営力向上に向けた取組内容を具体的に記載します。

右上は「経営計画の建設業指針、方針」に基づいた経営力向上の内容の記載例です。

経営力向上の内容<記載例>

	事業分野別指針の該当箇所	実施事項 (具体的な取組を記載)
ア	四 (ロ) 六 (ロ)	操作性に優れた新型のバックホウを導入し、現場作業の効率を上げることにより、実際の土木工事現場における生産性向上を図る。 また、新型バックホウは、現在使用しているバックホウと比べ、燃費性能が高く、かつ、排出ガスに配慮されていることから、環境負荷軽減につながる。
イ	四 (イ)	ICT土工の受注に向け、レーザースキャナーや3Dデータ作成ソフトウェアを導入し、最新機器を活用した起工測量や3D設計データ作成に対応できる技術者の育成に取り組む。

【事業分野別指針(建設業)の一部抜粋】

下記は、「建設業分野に係る経営力向上に関する指針」より、主に設備の新規導入に関わりのある項目を抜粋したものです。

四 新技術・工法の積極的導入

- (イ) ICT施工の実施、コンクリート工における生産性向上技術の活用等、i-Constructionの推進
 (ロ) NETISを始めとした新技術・新工法等の導入
 (ハ) 生産性向上に資する取組の導入

六 建設企業のイメージ向上につながる取組

- (ロ) 環境負荷軽減に配慮した事業の展開

申請手続きなどに関する詳細は、中小企業庁経営サポート「経営強化法による支援」にある「経営力向上計画策定の手引き」をご確認ください。

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyoka/> 経営強化法 検索

※事業分野別方針、指針が出ているものは事業別に申請書、記載例が入手できます。
 ※どの事業分野別方針を使うのか？どこへ申請すべきか？などのお問い合わせは、中小企業庁経営力向上計画相談窓口へご確認をお勧めします。

中小企業庁
 経営力向上計画相談窓口 TEL. 03-3501-1957
 (平日9:30-12:00、13:00-17:00) 中小企業庁 事業環境部 企画課
 この制度を活用して機械の購入をご検討される場合は、お近くの販売店担当セールスへお気軽にお問い合わせください。



持ってますか？ この資格

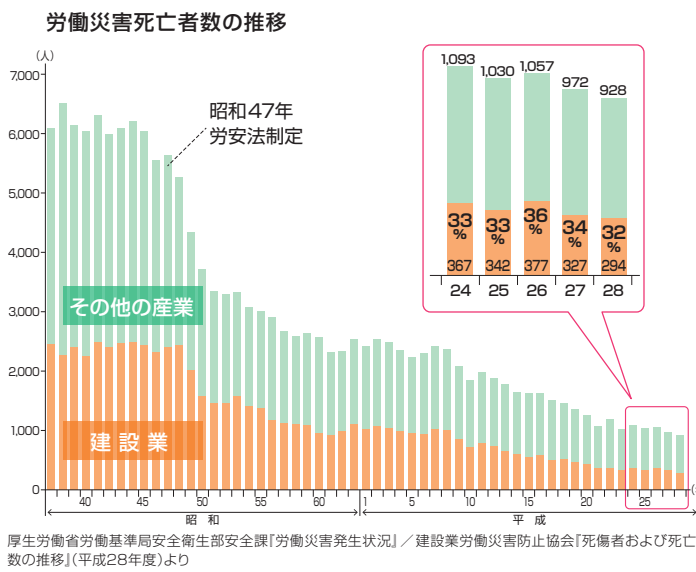
建設業における職長等及び 安全衛生責任者の能力向上教育

労働災害の防止を図る上で、現場の責任者である職長と安全衛生責任者が果たすべき役割はますます大きくなっています。「職長等及び安全衛生責任者の能力向上教育」を受講して安全管理の知識をしっかりと身に付け、労働災害の減少に生かしていきましょう。

厚生労働省が発表した「労働災害発生状況」によると平成28年の死亡災害は928人と、平成27年に続き1,000人を下回りました。死亡者数は徐々に減少傾向を迎ってはいますが、ほぼ横ばいの状態です。逆に死傷者数は前年比で1,599人増加しており、災害数全体として一進一退の状況にあります。

特に建設業は危険な業務を伴うことから、全業種の中でも死亡災害の発生件数が最も多くなっています。「ゼロ災害」というゴールはまだまだ遠くにあります。災害につながるさまざまな危険要因を現場レベルで自主的に発見し、チームミーティング、KY(危険予知)訓練、ヒヤリ・ハット活動、指差し呼称、リスクアセスメントなどを実施して、危険の芽を地道に摘み取っていく「現場力」の強化を図ることが大切です。そして、個々の現場レベルにおける安全確保の水準は、実務を指揮・監督する「職長」と「安全衛生責任者」の指導力や対応に負うところが大きいと考えられます。

建設業における労働災害防止を推進する上で職長と安全衛生責任者の役割が大きくなっていることから、厚生労働省より平成29年2月に通達*「建設業における職長等及び安全衛生責任者の能力向上教育に準じた教育について」が発出されました。



厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課「労働災害発生状況」／建設業労働災害防止協会「死傷者および死亡者数の推移」(平成28年度)より

建設業における職長等及び安全衛生責任者の能力向上教育について

キャタピラー教習所では、建設業における職長等及び安全衛生責任者の能力向上教育を定期的に実施しています。

この教育では、労働災害の仕組みや、労働災害が発生した場合の対応、作業に関わる設備および作業場所の保守管理の方法など、労働災害防止に関することや労働者に対する指導などを理解することができます。ぜひ、お近くのキャタピラー教習所までお問い合わせください。

この通達によって建設業に関わる事業者には、職長等及び安全衛生責任者の職務に就いている者に対し、これらの職務に従事することになった後おおむね5年毎に「職長等及び安全衛生責任者の能力向上教育」を受けさせることが求められるようになりました。

実際の現場では、実務経験を積んだ職長や安全衛生責任者が安全の指導を行っています。しかし、キャリアが長ければ安全かという点必ずしもそうとは限りません。建設機械や施工法は日々進歩し、昔のやり方は通じなくなってきました。「職長等及び安全衛生責任者の能力向上教育」では必要な基本知識を再確認し、労働災害の現状や、効果的な指導・教育方法を紹介するプログラムを設けています。作業員の命を預かるリーダーとして、対応力を身に付けておくために、**5年に1度は受講するようにしてください。**それでは「今日も1日ご安全に!!」

*「基発0220第3号」

職長 = 作業者を災害から守る、現場の責任者

職長とは、知識、技能、管理能力、経験などを通じて、作業員を直接指導・監督する立場にある第一線の監督者をいいます。どのような名称であっても「作業中の作業員を直接指導・監督する者」は、労働安全衛生法が規定する職長等となります。

〈業務例〉

- 適切な作業方法などを決定し、部下に守らせる
- 作業員の資格や能力を考慮して適切に配置する
- 部下の安全衛生意識の高揚を図るために活動をリードする
- 異常時・緊急時等の対処法を整え、部下に周知させる

安全衛生責任者 = 現場の安全を支える連絡調整係

建設工事では、1つの作業所(現場)において元方事業者(元請会社)以外に複数の関係請負会社が混在して作業を行います。この混在作業から生じる労働災害を防止するために、関係請負会社は「安全衛生責任者」を選任し、労働安全衛生規則第19条で定める職務を遂行させることになっています。

〈業務例〉

- 元請会社の統括安全衛生責任者との連絡調整を行う
- 統括安全衛生責任者からの連絡や指示を関係者に周知させる
- 自社の作業と他業者の作業がバッティングして事故等を起こさないよう管理する



【建設業における職長等及び安全衛生責任者の能力向上教育の概要】

科 目	時間
職長等及び安全衛生責任者として行うべき労働災害防止に関すること	120分
労働者に対する指導又は監督の方法に関すること	60分
危険性又は有害性等の調査等に関すること	30分
グループ演習	130分

＼ 技能講習・安全教育のご用命はこちらまで /
キャタピラー教習所株式会社

本 社 : 〒252-5292 神奈川県相模原市中央区田名3700
 TEL 042-763-7130 FAX 042-763-7104
 ホームページアドレス <http://cot.jpncat.com>

詳細は

キャタピラー教習所 検索





安全を見守る、眼にいたわりを

眼は私たちにとって最も大切な感覚器官。
もし機能が低下してしまうと、周囲の情報を素早く正確に
キャッチできなくなり、作業の安全性にも支障を来すことになります。
もう一度眼の大切さについて考え、
日頃からしっかりケアしてあげるようにしましょう。

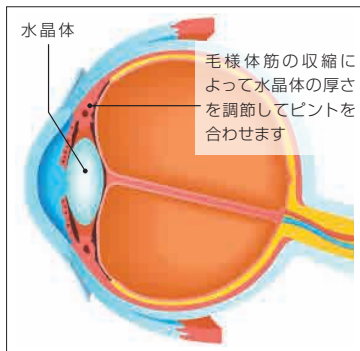


眼は「脳の出張所」とも呼ばれ、脳に送られる情報の80%以上は視覚を通して集められるといわれています。スマートフォン、パソコン、テレビ……膨大な視覚情報に囲まれた現代人の眼は慢性的なオーバーワーク状態になっています。眼の疲れは、肉体的な疲労感があまりないため軽く考えがちですが、その疲れから来る一瞬の判断ミスが重大な事故などにつながる恐れもあります。特に長時間にわたって建設機械やダンプトラックを運転していると、視野が狭くなったり集中力が低下したりして、とっさにハンドルを切ったりブレーキを踏んだりという行動に遅れが与えるため、疲れ目の原因や解消法を知っておくことが大切です。

疲れ目の原因としては次の3つが挙げられます。

①眼の筋肉が疲労している

眼球の中には「毛様体筋(もうようたいきん)」という筋肉があり、この筋肉を収縮させることによって眼のレンズである「水晶体」の厚さを調節してピントを合わせています。ずっと同じ距離を見続けていると「毛様体筋」が筋肉疲労を起こして、それ以外の距離に視線を移したときにピントが合いづらくなります。



②視力矯正が不十分

近視・遠視・乱視・老眼の症状があるにも関わらず、矯正せずにいると眼に負担が掛かります。また、度数が合わないメガネやコンタクトレンズも眼が疲れる原因となります。

③ドライアイ

まばたきには眼の表面に涙のバリアを作って乾燥から守る効果があります。通常、まばたきの回数は1分間に20回程度ですが、何かを集中して見

ているときは回数が少なくなり、眼が乾きやすくなります。

長時間同じ作業を続けていると、眼の筋肉がこり、自然とまばたきの回数も減って、視界がぼやけたり、眼の奥が重くなるといった症状が出てきます。眼の疲れが心身の疲労——頭痛や肩こり、判断力や注意力の低下につながる前に適度な休憩を取り、眼を休ませてあげましょう。疲れ目の解消には、アイマッサーも効果があります。

眼はとてもデリケートな器官です。暗い所から急に明るい所へ出たときに眼が眩んだり、逆に明るい所から暗い所に入ったときにしばらく何も見えなくなることがあります。眼は明るさの変化に対して感度を調整し、順応する能力を持っていますが、明るい所から暗い所に入ったときの暗順応は、明順応よりも時間が掛かるため、トンネルなどの暗い場所に行く際は特に注意しましょう。暗所作業での危険を避けるために、赤色光による照明を用いることも効果があります。

また、屋外はもちろん、工場内の作業現場でも眼はさまざまな危険にさらされています。病気の原因にもなる紫外線や赤外線といった有害光線、溶接時のアーク光やスパッタ、粉じん・金属片・薬液飛沫などの飛来物が発生する現場では、条件に合った保護メガネやゴーグル、顔面保護具を着用して眼をガードしましょう。

顔面保護具も溶接用保護面、防災面、防熱面などのタイプがあります作業に合ったものを選びましょう



保護メガネ

粉じんや薬液飛沫などの飛来物が発生する恐れのある作業や場所



遮光メガネ

紫外線や強烈な可視線、赤外線などが発生する作業や場所

今日のワンポイント

アイマッサーで1日の疲れを取り除こう！

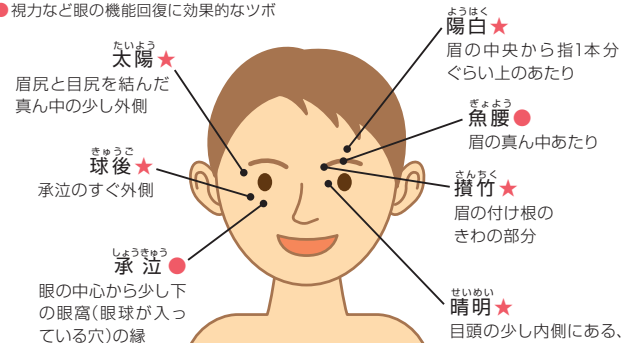
今日も安全確認に頑張ってくれた眼にご苦労様。
いつでも簡単にできるアイマッサーで溜まった疲れを取り除いてあげましょう。
眼の疲れに効くツボは眼の周りに集中しています。
指の腹で1カ所につき5～6回ずつ優しく押してください。

眼の周りの皮膚は薄くてきているので力を入れすぎないようにしましょう
また、角膜を傷つけてしまう恐れがあるので眼球も押さないようにしてください



【眼のリフレッシュに効くツボ】

- ★眼精疲労や充血を抑え、眼を健康にするツボ
- 視力など眼の機能回復に効果的なツボ



TOPICS



製品のご紹介

Cat® 926M/930M/938M ホイールローダ



クリーンな排出ガスと燃料消費量低減を両立！
作業効率と安全性も一段とアップ！



オフロード法
2014年基準適合



国土交通省指定
超低騒音型建設機械



2020年燃費基準

■ペイロード計量システム

作業効率
アップに貢献！

積み込み量の管理と過積載防止に貢献するペイロードシステム「Cat Production Measurement」をオプションとしてご用意しました。従来システムに比べて低い位置でバケット内の荷の重量を計量できるようになったため、無駄なリフト上げを行う必要がなくなりました。また、積荷の量をモニターで確認しながら調整できるため、勘に頼ることなく、正確に計量が行えます。作業記録の保存やプリントアウトも可能です。



■リアビューカメラ&後方障害物検知システム

現場の
安全を守る！

広画角のリアビューカメラを標準装備しています。前後進スイッチを「後進」に入ると、車両後方の映像をキャブ内のディスプレイに映し出すため、安全確認が容易に行えます。後方の障害物を検知し、オペレータに危険を知らせるシステムも、オプションとしてご用意しています。

* Present ご愛読者プレゼント

「CATくらぶNo.97」はいかがでしたか？

右記のメールアドレスに、ご意見・感想をお寄せいただいた皆様の中から抽選で3名様に

Catグッズをプレゼントいたします！

【賞品】

775G Off-Highway Truck
スケールモデル 3名様

ディテールまでこだわった
1/50のスケールモデルです。



お届けの際、賞品の色などが見本と異なる場合もございますが、あらかじめご了承ください。

【応募要領】

必要事項を記載いただき、下記メールアドレス宛にご応募ください。

- お名前
- 会社名
- ご住所
- 「CATくらぶ」へのご意見・ご感想
- 連絡先のお電話番号

〈応募先アドレス〉

cat-club-japan@cat.com

〈応募締切〉

2017年10月20日(金)

◎ご当選者には、セールスマンが賞品を直接お届けいたします。

ご提供いただきました個人情報は、当社の個人情報保護方針に基づき、今後の商品開発・販売促進などに利用させていただきます。当社の個人情報保護方針は、当社ホームページからご覧いただけます。http://www.cat.com/ja_JP/legal-notices.html#privacy

